

染料

Dyestuffs

山田化学は有機合成化学の発端である合成染料の開発に力を注ぎ、優れた品質の繊維用染料を生み出しました。

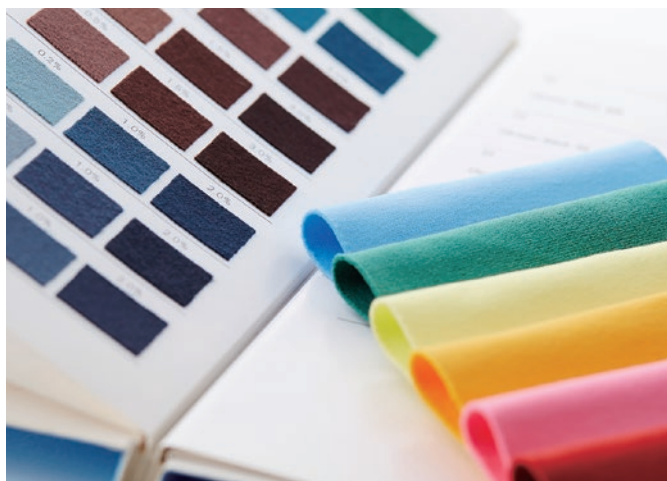
山田化学の染料は、染色が難しいとされるウール繊維を均一に染め上げ、堅牢度及び再現性に対しても抜群の安定性を誇ります。その用途は官公庁をはじめ各種のユニフォーム・フォーマルウェアなど多岐にわたり、最高品質の染料としてお客様の信頼を得てまいりました。

また、水着やフィットネスウェアなどの透過撮影を防止するための透撮防止用染料や、太陽光に含まれる近赤外線を効果的に吸収し生地があたたくなる吸熱用染料など、特色ある機能を有する染料も上市しています。

化学技術の基礎である染料合成の伝統を頑なに守り続ける。

そして柔軟な思考で次世代染料の開発に挑み続ける。

山田化学の原点である「高品質の染料」はこれからも世界中のお客様に必要なとされる品物であり続けたいと思います。



ロイコ色素

Leuco Dyes

ロイコ色素は、分子内に有するラクトン環が酸と反応する事により開環状態となって発色し、開環状態となった分子に塩基を接触させると閉環して消色する材料です。このような可逆反応を利用して、様々な示温材料が開発されてきました。

山田化学は、サーモクロミック材料に必要なフルオラン系化合物を始めとする多様なロイコ色素を取り揃えております。

また、お客様のニーズに合ったロイコ色素の開発も行っています。



有機合成中間体 (ファインケミカル、電子材料、樹脂用途)

Organic Synthesis Intermediates

化学メーカーとして70年の実績を誇る山田化学は、染料中間体とされるジヒドロキシナフタレンをはじめ、様々な化学品を製造してきました。

これら有機合成中間体は、ファインケミカル、電子材料、樹脂など各分野の原材料としてご利用いただけます。

